

## 伊勢の神宮と氏神さまのお神札をおまつりしましょう。

伊勢の神宮は、三重県伊勢市に鎮座し、日本で最も貴いお宮です。

わたしどもは新年を迎えるにあたり、新しい伊勢の神宮のお神札と地元地域の神社・氏神さまのお神札をおまつり、二年間の家族・家庭・地域の無事と平安を祈る暮らしを、連綿と行ってきました。

下の様な神棚を設けておまつりすることも大事ですが、まずは出来ることから始めることが大切です。

中面のおまつりの仕方を参考にしてください。

## 国旗について

### ❖ デザインの意味と象徴

日本の国旗「日の丸」は白地の中心に赤い丸が付された単純明快なデザイン。これらは、素直な心(白)と「日出る国」の象徴である太陽(赤)を表現したものです。

### ❖ 日の丸の起源

「日の丸」は平安時代末期の源平合戦のころから、扇や旗のデザインとして登場します。さらに時代が進むと、他国との貿易の際、朱印船などの「船印」として使用され、この頃から今日の船籍を示す「国旗」としての役割を果たしはじめたと考えられています。

「日の丸」が船印・国標として定められるのは、幕末、ペリーの黒船が来航した直後の安政年間で、これを維新政府も引き継ぎ、明治三年(一八七〇年)一月二十七日に「日の丸」を国旗として布告しました。



神棚、お伊勢さま・氏神さまのお神札についてのお問い合わせは

神奈川県神社庁

〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1 TEL 045-761-6387 FAX 045-761-0100  
Email: k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp

<http://www.kanagawa-jinja.or.jp/>



令和4年10月

## 家庭祭祀のおすすめ



## なぜ、お神札をおまつりするのでしょうか？

わたしども日本人は昔から「八百万の神々」といって、山や川・田畑火や水・居間や台所に至るまで、あらゆる物事に神さまの存在を感じ、お守り下さっていると信じて、感謝の祈りを捧げてきました。

日々のくらしの中で神さまに祈ることは、今も昔も変わらない日本人の持つ美しい姿・心の現れであります。

皆さまのご家庭にもお神札をおまつりして、手を合わせてみてはいかがでしょう。

「家族が元気でありますように：」「家庭に災いがありませんように：」と祈り、「神さまのおかげで：」と感謝する心が、家族の絆を深めてくれることでしょう。



## 二拝二拍手一拝でお参りしましょう。

### 拝礼の作法



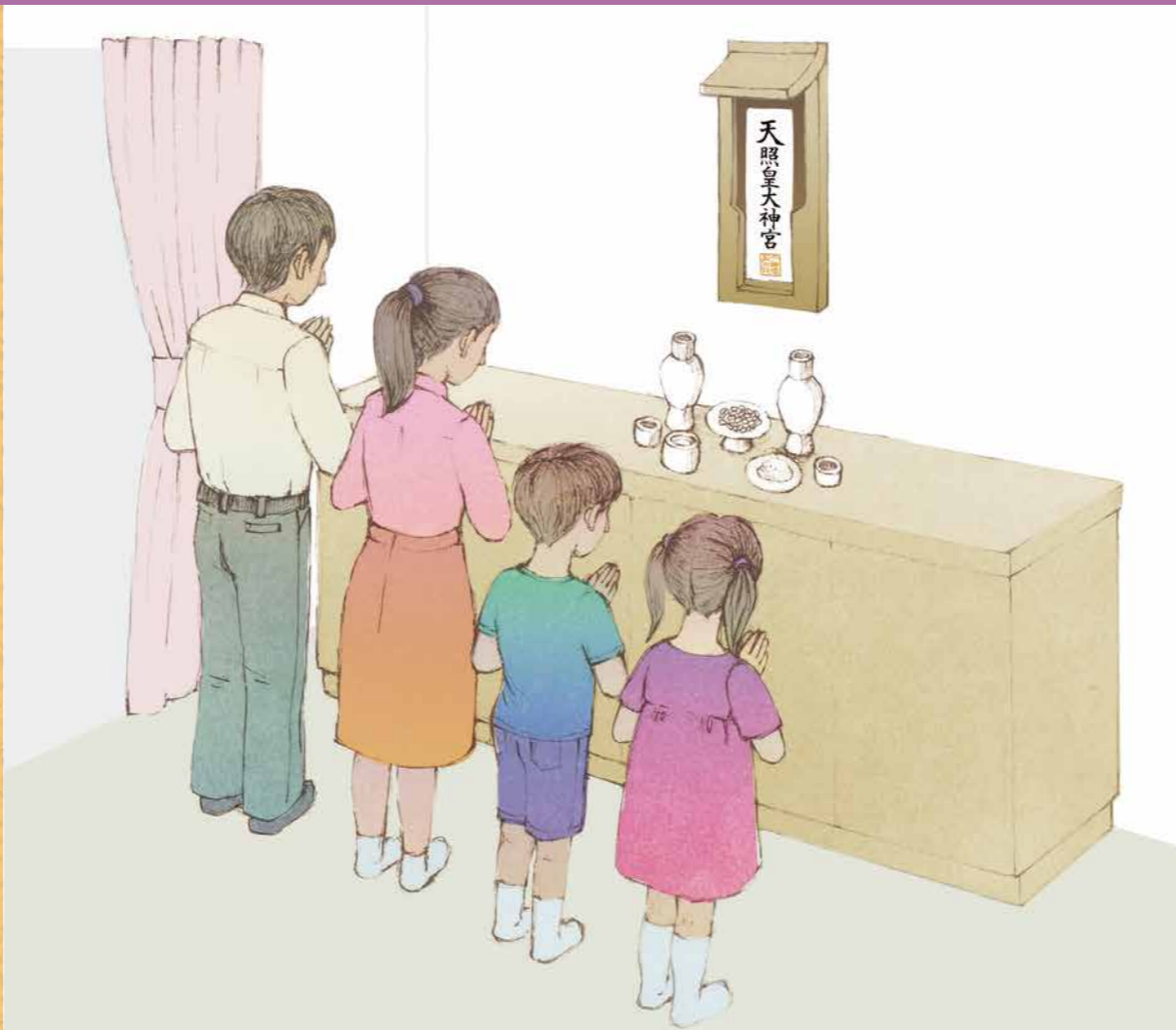
1 まず二回、深く頭を下げます。



2 二拝したあと、胸の前で両手を合わせ、右手を少し下にずらして二拍手を打ちます。二拍手のあと、両手の指先を揃えて、祈りをこめます。



3 最後にもう一回深く頭を下げます。



— マンションなどの住宅事情で —  
**神棚**を設けることができない方でも  
 この様におまつりすることができます。



タンスや書棚などの上に白い紙を敷いておまつりする  
方法もあります。



モダンなデザインの神棚



壁掛けもできる小さな神棚

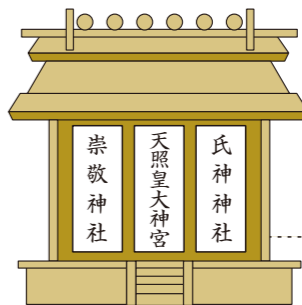


神棚には多種多様な形があります。

「千葉県神道青年会 制作」

## ◆おまつりの仕方

重ねる場合は手前にお伊勢さまがくるようにおまつりします。



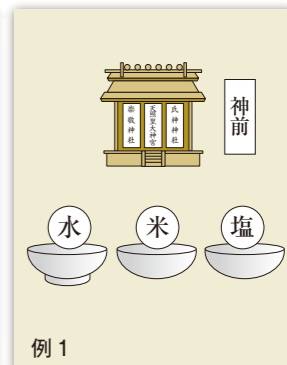
横に並べる場合は左の順序でおまつりします。

天照皇大神宮  
 氏神社  
 崇敬神社

## ◆お供えの仕方



例2



例1

- ◆お神札は視線よりも高い所に、表側を南か東の方角に向かっておまつりします。また、毎日お供え(米・酒・塩・水など)をするのが理想的です。
- ◆毎日のお供えが無理な方は、月の1日や15日などにお供えをすることから始めましょう。家族にとっての大切な日(記念日)などは特別なお供え物をして祝いし、家族の絆を深めましょう。
- ◆お神札は、年末年始に氏神さまから新しいものを受けておまつりしましょう。
- ◆一年間お守りいただいた古いお神札は、感謝を込めて受けた神社や氏神さまに納めて、お焚き上げしてもらいましょう。